

栄養サポートチーム（NST: Nutrition Support Team）について



第2回地域伝統食で作る嚥下食メニューコンテスト 優秀賞作品
(飲み込みが難しくなった方用の) ふぐちり



内科部長
鈴木千衣子 医師

日本内科学会 認定医

<所属学会>

日本内科学会

日本肝臓病学会

日本消化器病学会

日本消化器内視鏡学会

日本静脈経腸栄養学会（TNT 修了医）

日本リハビリテーション栄養研究会

入院患者さんを対象に、栄養サポートチーム（NST）が活動を行っています。NST とは医師・看護師・栄養士・薬剤師・言語聴覚士など複数の職種で構成され、病気のために体重が減ってしまった患者さんや食事を口から摂ることが難しく、十分に栄養がとれていない患者さんなどの栄養サポートを行うチームです。



NST 勉強会風景（週1回開催中）

患者さんの病気の状態に応じ、必要な栄養を十分とるための方法を考え、実際にとっている栄養量を評価し、体重や血液検査結果を参考に栄養状態の改善を図っています。食事が食べられない場合には点滴や栄養補助食品が十分提供されているかを調べ、より良い栄養投与の方法を提案しています。栄養状態が良くなることでリハビリの効果も上がり、合併症の予防や生活の質の向上につながっています。



飲みこみの力が弱り安心して口から食べることが難しくなった場合には、経鼻内視鏡を用いた嚥下機能を調べる検査（嚥下内視鏡検査）を行っています。嚥下内視鏡検査で飲みこみの状態を検査し、安全に食べることができる食材や調理方法を見極め、食べる速度や口に入れることが出来る一回の量、食べる順番などを決めていきます。このように NST は色々なアプローチで病気の回復に大きな影響を及ぼす栄養失調の予防と治療に力を入れています。



当院 NST は栄養管理に携わる医師を含めたメディカルスタッフ全体の教育のため、栄養関連学会である日本静脈経腸栄養学会に所属しています。学会への参加や発表を行うほか、学会主催の医師向け臨床栄養教育プログラム（TNT）を終了し、チーム全体の知識の向上にも役立てています。この度日本静脈経腸栄養学会が定める NST の定義に基づいて「NST を設立・運営を行っている施設」として NST 立ち上げ宣言を行い承認されました。

